

## 縁たより・お助けブック活用状況アンケート集計結果

送付者数： 148事業所 アンケート回収数 93 件 (63.0%)

### ●性別

①男	②女
40人	53人

### ●年齢

20代	30代	40代	50代	60代以上
2人	15人	21人	30人	11人

### ●所属

病院・診療所	歯科	薬局	訪問看護	包括・居宅
15人	3人	11人	2人	12人
訪問系介護事業所	通所系介護事業所	施設	その他	
6人	17人	12人	4人	

(1) ”縁” たよりを読みますか。

毎回見る	時々見る	あまり見ない	見たことがない
39人	25人	15人	7人

Q (1) にてあまり見ない・見たことがないと答えた方は理由をお聞かせください。

量が多い	時間がない	為にならない	その他
0人	14人	1人	8人

(2) ”縁” たより内容はいかがですか。

悪い	どちらでもない	良い
0人	33人	42人

(3) デザイン・レイアウトはいかがですか。

良い	少し見にくい	見にくい	その他
53人	16人	2人	7人

(4) ”縁” たよりの情報やお助けブックを活用することはありますか。

ある	ない
41人	42人

(5) で「ある」と回答した方のみ具体的な活用方法を教えてください。

研修会・イベント・教室に参加	連携の為の情報を得た	新しい情報を知ることができた(認知症・ACP等)	シズケア*かけはしの活用	その他
14人	19人	28人	5人	2人

(6) 在宅医療・介護連携推進の為、どのような情報が必要だと思いますか。

ACP (人生会議)	<p>・介護連携推進について特に、ACPについてまだ地域の住民の方、福祉・医療関係者は知らない。聞いたことがあっても何をするか知らない人が多い。病院・施設で初めて知る方が多いがそこで、初めてACPを知っても取り掛かるまでに時間がかかる為、地域の方々元気なうちにもっとACPについて具体的にどうするものなのか情報を発信してほしい。</p> <p>ACP(人生会議)については市民向け講演会を企画したり、広報こさいでの啓発も実施しております。多職種専門職向けに講演会や研修会を企画実施しています。また”縁” たよりにおいてもACPについて啓発や講演会等の案内をしております。湖西市版エンディングノートの配布⇒人生会議手帳へ(無料)今後もより一層多くの方に普及啓発できればと思います。</p>
シズケア*かけはし 多職種連携	<p>・在宅での身体状況、生活状況のモニタリング者である在宅介護事業所から医療機関への情報伝達：ボトムアップ連携の強化。</p> <p>・シズケアの利用拡大・シズケアの利用拡大サービス担当者会議や個別ケア会議の開催状況。</p> <p>・シズケアかけはしなどの情報ツールの活用。</p> <p>・シズケアの活用方法。(自分が使っている使い方以外に以外に便利な使い方があれば知りたい。</p> <p>在宅医療・介護連携推進のため、三師会の代表、市内2病院や介護事業所(包括、居宅、訪看等種別ごと)の代表者の方々が集まり協議会が開催され連携推進についての協議が3~4回/年実施しています。湖西市ウェブサイトにて(在宅医療・介護連携推進事業)に議事録概要が閲覧できるようになっています。また、シズケア・かけはしの利用拡大(浜名医師会のモデル事業)に向けてシズケア*かけはし連携推進協議会がひらかれ連携推進に向けた検討会を実施しております。</p>
連携 支援 センター	<p>・一般市民が、気軽に相談できる機会・状況を周知させる事をもう少ししたらどうか。</p> <p>・地域住民への向けての情報であるのか、専門職に向けての情報なのか、どこに向けての情報発信なのかわかりにくいところがあります。</p> <p>一般市民の相談窓口ではなく、専門職の相談窓口として平成30年度に設置されました。お助けブックや”縁” たよりも専門職に対する発信となっています。</p>
社会 資源	<p>・社会資源紹介は役に立つと思います。</p> <p>・資源があれば知りたい。どのような社会資源があるか。</p> <p>湖西市の在宅福祉サービス及び社会資源をお助けブックの別冊として冊子にまとめています。地域包括支援センターの協力も得て毎年更新しています。お助けブックとともに湖西市ウェブサイト(在宅医療・介護連携推進事業)に掲載し、いつでも専門職の方々が閲覧できるようになっています。希望がある事業所に配布しています。</p>
お 助 け ブ ック	<p>・医院と薬局の連携に関する情報</p> <p>・在宅医療をやっている病院名と時間が知りたい。</p> <p>お助けブックデータベースA、Cは、上記の内容が網羅されているのでみていただきたい。</p> <p>・連携お助けブック、湖西高齢者プランと同じく3年ごとに見直しができるといいでしょうか。</p> <p>・お助けブック、年度で見直ししてくれているので助かります。ケアマネ業務では有効に活用させてもらっています。</p>

お助けブック	<p>お助けブック（データベースA・B・C含む）別冊 湖西市退院調整ルール、別冊 湖西市の社会資源、は毎年更新しています。縁だよりでも更新する為のアンケート依頼やできた場合の配布希望を掲載しております。市内の相談窓口となる医療や介護事業所には毎年紙ベースのものを配布しています。</p>
	<p>・在宅医療対応データベース」アンケートについて変更なし欄があるとありがたい。</p>
	<p>来年度令和7年10月のデータベースアンケートでは取り入れ検討したいと思います。</p>
	<p>・種別毎に互いの情報共有が出来たらよいかと思います。</p> <p>・様々な事業所の取組で、うまく行えている方法があれば共有したい。</p>
	<p>同サービス事業所同士で連携する機会が作れると良いですね。以前保健師部会でデイサービスに参加を呼びかけ、人気のレクリエーションについて実践する機会を作ったことがありました。多職種連携できる機会については、たよりなどで発信していきますので参加していただければと思います。</p>
	<p>・それぞれのサービス利用の状況の確認が取れると情報共有がしやすい。以前、訪看さんとデイを利用されている方が訪看のノートもデイに持参してくれており、訪問時の様子がとても分かりやすかった。</p>
	<p>各利用者様のそれぞれのサービス利用については、担当ケアマネに確認したり、サービス担当者会議の場を利用するのが良いのではないのでしょうか。例）シズケア*かけはしにて情報共有チームを作れば、問いかげすればいつでもチーム間での情報共有が出来ると思います。</p>
	<p>・他の専門職や事業所、機関に関すること。</p> <p>・各事業所の特徴や対応事例があると相談しやすいと考える。</p> <p>・各事業所の業務内容や現状（受け入れ可能数など）が分かるとういと思います。</p>
<p>お助けブック特にデータベースAを見て頂けると上記に関する事が良いと思います。参考にしてください。</p>	
その他	<p>・家族への精神的支援。</p> <p>・他の地域でどのような取り組みをしているのか？この町で取組たい何が支障になっているのか？実は、課題について市内の多職種に相談すると解決する事もあるのではないのでしょうか？</p> <p>・稀かもしれないが、他府県移住の利用者様やCMからみても解りやすい情報がほしい。たとえば、申請時に整える書式や、提出書類を紛失したときにCMが代行で提出する際、必要な書類などを、フローチャートで表していただけるとありがたい。</p> <p>・事例・ワンポイントアドバイス</p>
”縁”たより	<p>・カラーだと見やすいのですが印刷するときに印刷代を気にする事業所もいるかもしれません。ただ、白黒印刷をすると薄くなる為、一度縁さんの編集時点で、白黒印刷をプレビューして確認していただけますか？</p> <p>・残念ながら”縁”たよりは現状読みにくく感じます。レイアウトが問題かと思いますが、必要な情報を拾いにくく思います。・1行の文字数を少なくする。・小見出しの一覧をたよりの初めに載せる。・記事ごとに下地の色が変わると見にくく感じます。むしろ記事ごとの間をあけて見やすくした方が良いのでは・・・・PDF化シテダウンロードできるようになると良いと思います。</p> <p>・”縁”たよりはFAX送信しか受け取れないものでしょうか？情報記載部がカラーのせいかFAXだと（白黒）文字が見づらくなります。色味を減らして文字がすっきり見やすくなり読む気もできるのでは？・とても見やすく情報がまとまっていると思います。今後も楽しみに拝見させていただきたいと思っています。・「”縁”たより」はいつも楽しく拝見いたしております。新しい情報は「なるほど」と思い研修のお知らせは「日時が合えば参加したい」と思っております。これからも新しい記事を楽しみに期待しておりますので、宜しく願います。・縁たよりを知りませんでした。今回、初めてこのアンケートで知ることができました。情報を今から発信できるようにしていきたいです。</p>
	<p>レイアウトは、ご意見を反映しながら、皆様に少しでも読んでいただけるよう変更できる場所はしていきたいと思っています。配信につきましては、医師会員には医会で紙面でたよりを配布しています。歯科医師会、薬剤師会につきましては担当事務局を通じてメールやFAXにて配信していただいております。いただいた要望をもとに、今後の配信方法を検討したいと思います。</p>
当センターに対しての「意見・ご要望」	<p>・医療側、介護側のそれぞれの意見をとりあげて課題に対してどんな対応ができるかの問題提起やこんな風にするのはどうかなどのご意見を申先の立場で発信していただけると助かります。</p> <p>専門職の皆様のご意見や課題などありましたら、ご相談いただければ、その場ですぐ回答できることばかりではありませんが、介護側から医療側、医療側から介護側へと繋げていく役割をいたします。</p> <p>・情報の欲しい方は、どこにどのような事業所があるのか、またその事業所がどのような特色や強みがあるのかも分からない方も多いと思います。縁たよりがそのような方々にたくさん読んで頂けると良いかと思います。またお助けブックは色々な意味で参考になると思います。</p> <p>・病院からあまり連絡することは少ないと思いますが、何かあれば、相談できる場所があることで安心につながっています。色々な職種からの意見があり大変と思いますが、今後も”つなげる”ためによりしくお願いします。</p> <p>・色々教えていただけるのはありがたいです。これからもよろしく願います。</p> <p>・今のままでいいと思います。</p> <p>・どのような取り組みをしているか良くわからない。具体的にどのような連絡が寄せられているか知りたい。</p> <p>・色々な情報を教えて下さい。</p> <p>・色々チャレンジしてください。</p>